



学校教育目標
かしこい子
心ゆたかな子
たくましい子

令和7年度1月号
児童数 393人



2026年 幸せいっぱいの毎日へ

「Happiness After Smile」(ハピネス アフター スマイル)

門松 年神様を招き入れる目印となるお正月飾り。長寿「松」、繁榮「竹」、生命力「梅」等の縁起の良いものが使われている。

ブログ更新中



校長 八代 剛

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年もよろしくお願ひいたします。

冬休みが明け、子供たちは元気な笑顔で学校に戻ってきました。久しぶりに友達と再会し、楽しそうに話す姿や、「今年はこれをがんばりたい」と目標を語る様子から、新しい一年への前向きな気持ちが伝わってきます。

さて、年明けには箱根駅伝が行われました。今年優勝した青山学院大学は、往路、復路ともに安定した走りを続け、各区間で自分の役割を確実に果たしながら、たすきをつないでいきました。報道の中で監督は、「特別なことをするのではなく、日頃の積み重ねを信じて平常心で臨むこと」、「一人ひとりが自分の役割に集中することの大切さ」を語っていました。選手同士が声を掛け合い、仲間を信じて走る姿から、チームとしての強さを感じられました。駅伝は、一人の力だけでは成り立たない競技です。自分の走りが次の仲間につながっているという意識が、最後まで力を出し切る原動力になります。このことは、学校生活にも通じるものがあります。学習や行事、日々の生活の中で、子供たちはそれぞれが役割を持ち、友達と支え合いながら活動しています。一人ひとりの努力の積み重ねが、学級や学校全体の力になっていくのだと思います。

一方、年末年始には地震、火災や大雪など、防災や安全に関するニュースも多く報じられました。日常の生活が決して当たり前ではなく、日頃からの備えや判断が重要であ

ることを、改めて考えさせられます。引き続き、具体的な被災場面等を想定した避難訓練や安全指導を通して危険を予測し、状況に応じて行動する力の育成に努めてまいります。

寒さの厳しい時期が続いているが、今年の干支は午(うま)年です。馬は、目標に向かって力強く前進する姿や、仲間と息を合わせて走る様子が印象的な動物です。駅伝でたすきをつなぐ選手たちの姿とも重なり、日々の積み重ねを大切にしながら、一歩一歩着実に前進していくことの大切さを、改めて感じています。

1月は、一年の始まりであると同時に、自分自身を振り返り、新たな目標に向かって歩み出す大切な時期です。新開小学校では、引き続き「Happiness After Smile」を合言葉に、一人ひとりを大切にし、誰もが安心して学び、幸せを感じられる学校づくりに努めてまいります。また、一人ひとりが自分の目標に向かって粘り強く取り組み、周囲と支え合いながら成長できる一年となるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

本年も、子供たちの健やかな成長と、誰もが幸せいっぱいに過ごせる毎日となるよう、ご家庭や地域の皆様には引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【金管バンドが全国大会に出場しました】

今年度地域移行となつた金管バンドは、新開金管マーチングバンドと名前を新たにし、見事全国大会に出場いたしました。12月末には、放課後の時間に校庭で全国レベルの素晴らしい演奏を披露してくれました。当日は、多くの子供たちが応援に駆け付け、温かく見守っていました。